平成３０年度　下川淵公民館運営推進委員会　第２回会議

日時　平成３１年３月１１日（月）
午前１０時から
会場　下川淵公民館　会議室

次　第

1　開会

2　あいさつ　　宇多 館長

3　議事　　　　進行：関 委員長

（1）平成３０年度下川淵公民館実施主催事業について

（2）その他

4　閉会

下川淵公民館運営推進委員名簿

平成３０年７月１日現在

１　学校教育の関係者

No.	氏　　名	役　職　名	委嘱期間
1	須永　一弘	前橋市立第七中学校長	H30.7.1～ H31.6.30
2	金井　英男	前橋市立下川淵小学校長	H29.7.1～ H31.6.30

２　社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者

No.	氏　　名	役　職　名	委嘱期間
3	関　安信	下川淵地区自治会連合会長	H30.7.1～ H31.6.30
4	新井　英明	下川淵地区青少年健全育成会長	H30.7.1～ H31.6.30
5	角田　正治	下川淵地区社会福祉協議会長	H30.7.1～ H31.6.30
6	久保田　光明	下川淵地区民生児童委員協議会長	H29.7.1～ H31.6.30
7	清水　正彦	下川淵地区老人クラブ連合会長	H30.7.1～ H31.6.30
8	根岸　輝治	下川淵地区生涯学習奨励員連絡協議会長	H29.7.1～ H31.6.30
9	金井　俊夫	下川淵公民館自主グループ連絡協議会長	H29.7.1～ H31.6.30
10	宇田　佳子	下川淵地区保健推進員会長	H29.7.1～ H31.6.30

任期（委嘱期間）　平成２９年７月１日～平成３１年６月３０日

※ただし、選出団体の任期終了により役員の改選が行われた場合には、その者の残任期間を委嘱期間とする。

平成３０年度 下川淵公民館主催事業

1.子育て親子支援

「寝相でアートしよう」 担当:笠原

（１）趣旨

①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会を提供する。

②子どもの成長に必要な創作活動を保護者とふれあいながら楽しく行い、創造力を高め親子の絆を深めることねらいとする。

③地区子育てサロンとの連携実施による地域交流を図る。

④まえばし市民提案型パートナーシップ採択事業「寝相アートでつなぐママと地域と企業の輪」の協働事業として実施する。地域特性を表した作品を公民館内に展示することにより、子育て・親子支援事業を広く周知することをねらいとする。

（２）概要

①対象

地区在住の子（１才未満）を持つ保護者とその子１０組×２回

②募集方法

地区子育てサロンでのチラシ配布

寝相アートホームページ（講師作成）への掲載

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	講師	組数
1	6/28(木) 10:00～12:00	寝相アート	【講師】 寝相アート　宮沢亮子 【協力者】 子育てサロンスタッフ おはなしの会もこもこ	10
2	7/12(木) 10:00～12:00			10

（４）評価と反省

前橋市民提案型パートナーシップ採択事業を、地区子育てサロンとコラボして行った。下川淵地区の子育てサロンはこれまで参加者が少ない（５～１０組程度）ことに悩んでおり、定期的に参加してくれる人を増やしたいと前々から相談を受けていた。公民館としても、子育て親子支援事業の参加者集めにいつも苦労しており、参加者の固定化を変えたいという思いがあり、今回そんなお互いの悩みを解決しようと、寝相アートを子育てサロンと公民館のコラボでやるという試みに至った。

人気の寝相アートを無料でできるということで定員はすぐにいっぱいになり、いままで子育てサロンや公民館に来たことのない人が多

く参加してくれた。集まった人たちに、サロンは毎月２回やっていることを伝えた結果なのか、寝相アート以来、子育てサロン参加者が増加し、多い時では１５組ほど集まるようになった。公民館としても、新たな来館者層の獲得につながった。

今後も、地域の様々な団体と協力しながら、お互いのメリットとなりより自発的で活発な地域となるような講座を企画したい。

講師デザインの寝相アート背景

撮影を待つ人や終えた人は、いつも通りの子育てサロンを楽しむ

「わくわくクラブ」 担当：笠原

（１）ねらい

①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会を提供する。

②子どもの成長に必要な創作活動を保護者とふれあいながら楽しく行い、創造力を高め親子の絆を深めることねらいとする。

（２）概要

①対象

地区在住の未就学児を持つ保護者とその子　２０組４０名

②募集方法

館報への記事掲載・地区内へのチラシ毎戸配布
近隣公民館でのチラシ配布（設置）
子育て支援課でのチラシ配布

（3）内容

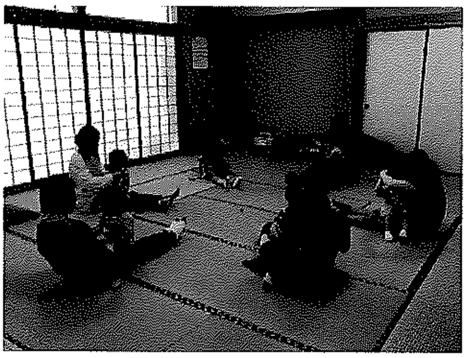
回	月日・時間	学習主題・内容	講師	組数
1	10/ 9（木） 10:00～12:00	親子でふれあい遊び	群馬医療福祉大学 田中輝幸	5
2	10/16（火） 10:00～12:00	どうしたらいい？子どもの成長に合わせた“言葉かけ”	【講師】 群馬医療福祉大学 川端奈津子 【協力者（託児）】 ・群馬医療福祉大学 ボランティア ・地区保健推進員	5
3	10/23（火） 15:00～16:00	つくってあそぼう	持田みね子（地区在住）	3

（4）評価と反省

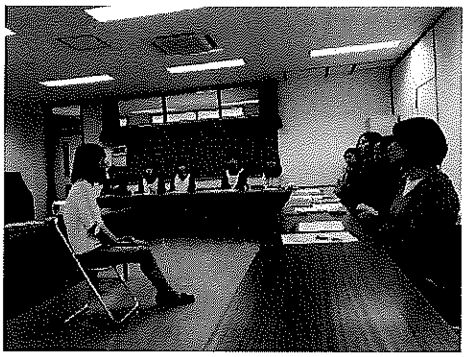
託児つきの調子実習を目玉にした連続講座を予定していたが、講師都合により断念。結果としては5組しか集まらず、また最終回は3組となってしまった。

下川淵地区では、2～5歳（未就学児）をもつ保護者を対象にした講座はいつも参加者がとても少ないが、地区の人によると子が1歳になると保育園に預け働きにでる人が多いとのこと。この状況を変えるのは、保護者たちが働かないように誘導することになり、それもまたおかしなことだと考えるため、いまある状況の中でできること（休日に開催する・少人数だからこそできる内容・企業へ出向いて講座を行うアウトリーチ型など）を考えていきたい。また、費用対効果を考え、出前講座を多く活用するなど少ない経費で運営できる講座にしたい。

今回はとてもこぢんまりとした講座になったが、特に2回目の言葉かけの講義では少人数だからこそ全員が発言（質問等）できる雰囲気があり、参加した方々からは好評であった。



視覚・聴覚・触覚を使う、たのしいふれあい遊び



積極的な質問タイム　　地区保健推進員と学生ボランティアによる託児

作って終わりではなく、遊び方も教わった

「ベビープログラム」（上川淵・下川淵・東　合同）　担当：笠原

（１）ねらい

①親が安心して子どもを連れて学習できる場を提供する。

②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。

③親子のふれあいを深める。

④家庭の教育力向上の一助とする。

（２）概要

①対象

第一子（平成３０年５月６日～９月５日生）とその保護者１２組

②募集方法

各公民館の館報及びホームページに記事掲載

各地区内及び子育て支援課でのチラシ配布

（３）内容

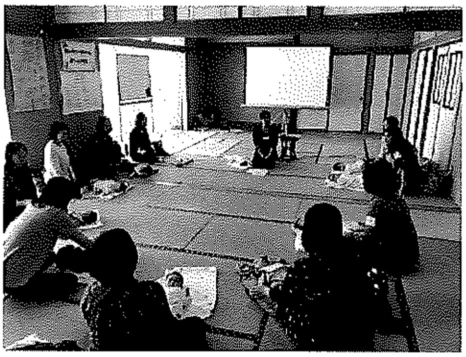
回	月日・時間	学習主題・内容	講師	組数
1	11/ 5（月） 10:00～12:00	新しい出会い	子育て支援課　保健師	11
2	11/12（月） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活		

3	11/19（月） 10:00～12:00	赤ちゃんの接し方		
4	11/26（月） 10:00～12:00	親になること		

（４）評価と反省

今回は三館（上川淵・下川淵・東）合同ということで、集客や事務などを分担・協力しながらできたことがメリットであったと思う。一方で、他地区の公民館に行くことはハードルが高いようで、どうしても開催する館の地区に住む参加者が多くなってしまい他２地区の住民を拾いきれないことがデメリットであるように感じた。

ベビープログラムは参加者同士の交流を重視したプログラム編成の４回連続講座であり、近い年齢の子を育てる母たちのコミュニティ・ネットワークづくりにとても有効である。そのため、より多くの人がより近くに住む仲間をつくるためにも、同じような内容を各館で実施するなどできることを考えることが今後の課題だと考える。



「スペシャルサロン」 担当：笠原

（１）ねらい

①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会を提供する。

②子どもの成長に必要な創作活動を保護者とふれあいながら楽しく行い、創造力を高め親子の絆を深める。

③子育てサロンとの連携実施による地域交流を図る。

④幼児教育センターのアドバイザーを講師とすることにより、市内にある子育てサポート団体（施設）を地区住民にアピールするきっかけとする。

（２）概要

①対象

０～約２歳の子をもつ保護者とその子（あくまで子育てサロンなので定員は設けない。また、対象から外れている場合でも断らない）

②募集方法

公民館報へ記事掲載・地区内チラシ回覧

子育てサロンでのチラシ配布と職員による直接の告知

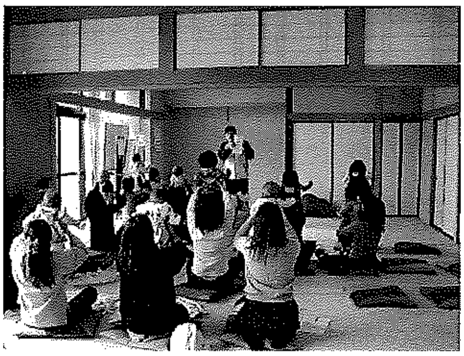
（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	講師	組数
1	2/14(木) 10:30～11:30	スペシャルサロン （身体をつかったふれあい遊び・読み聞かせ等）	幼児教育アドバイザー 田中　輝幸	16

（４）評価と反省

寝相アートに続く、子育てサロン×公民館の第２弾として企画した。公民館講座としてプログラムを組みつつも、ふらっと気軽にこられる子育てサロンの良さを活かした。より幅広い層へ、公民館事業と子育てサロンの両方を知ってもらうきっかけとなったと感じている。

講師は、わくわくクラブでも依頼した田中先生で、音楽・運動・ふれあいなどさまざまなコンテンツを使い、保育士経験を活かした時間づくりであった。



「和菓子をつくろう」 担当：笠原

（１）ねらい

①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会を提供する。

②子どもの成長に必要な創作活動を保護者とふれあいながら楽しく行い、創造力を高め親子の絆を深める。

（２）概要

①対象

地区在住の小学生を持つ保護者とその子８組×２回

②募集方法

公民館報へ記事掲載・地区内チラシ回覧

地区小学校全校生徒へのチラシ配布

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	講師	組数
1	3/ 2(土) 9:00～10:30	和菓子をつくろう ～春の三色ぼたもち～	笛木　京子	6
2	3/ 2(土) 10:30～12:00			6

（４）評価と反省

保護者と子がゆったりと、共同作業をしながらコミュニケーションがとれるように、また、子が「学校や家ではやらない（できない）体験」を重視して企画した。作業自体が単純になるようにある程度の下準備をしておいたため、焦らずに作業することができ、保護者と子の会話が多く聞こえた。また、過去の公民館講座を除いて和菓子をつくったことがある参加者（子）はおらず、目的を達成できたと考える。

保護者として父親の参加が２組、祖母の参加が２組あり、普段は母親だけの参加が９割以上のこの事業で、多様な交流がみられた。また、講座終了後のアンケートでの「こんな講座が受けてみたい」という項目に対して、普段ほとんど参加のない若い男性の意見を回収することができたことで、今後の事業展開へのスパイスとなったように感じる。

講座は、明確な目的をもって行うものである。今後も、さまざまな異なる目的の講座を行い、地域社会の発展に寄与する公民館事業としたい。

2.青少年体験・チャレンジ活動

夏休み子ども体験教室　担当：石井

（１）ねらい

①昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、時代の新たな担い手となる子どもたちの好奇心や創作心・生きる力を養うこと。

②それぞれの活動で学校・家庭とは異なる気付きや学びを得てもらい、子どもたちの視野を広げること。

③地域の中で異年齢と交流を図ることにより、自立性及び社会性を育むこと。

（２）概要

①対象

陶芸教室　地区在住小学３年生～６年生１６人

科学教室　地区在住小学生１６人

食育教室　地区在住小学３年生～６年生１６人

野外教室　地区在住小学３年生～６年生２０人

②募集方法　館報掲載・館内掲示・ホームページ掲載

地区小学校全クラスへのチラシ配布

（３）内容

①創作教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	7/26（木） 10:00～12:00	陶芸教室（成形） ～粘土をこねて形を作ろう～	制作	自主グループ 下川淵陶芸クラブ 会員　１２人	16
2	8/9　（木） 10:00～12:00	陶芸教室（色付け） ～色を選んで付けよう～			16
3	8/23（木） 10:00～11:30	陶芸教室（仕上げ） ～自分の作品に出会えるよ～			16

②科学教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/7（火） 10:00～12:00	こども電気教室 ～クリップモーターをつくろう～	講義 実験	関東電気保安協会担当職員	11

③食育教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/22（水） 10:00～13:00	高校生講師による料理教室 エビの炊き込みピラフ、牛乳寒天みかん入り、ミニハンバーグ野菜添え	調理実習	群馬県立前橋南高校 料理研究部	15

④野外教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/17（金） 9:20～16:00	歴史資料館と工場見学へ行こう！ 歴史資料館では古墳等の歴史学習、工場見学では清涼飲料水の製造工程の説明と見学	館外学習	総社歴史資料館担当職員、サントリープロダクツ㈱榛名工場担当社員、地区協力者２名	13

（４）評価と反省

①陶芸教室

例年大人気の講座であり、講師をお願いしている下川淵陶芸クラブの方々のていねいな指導により、参加した子どもたちはそれぞれクオリティの高い作品を作ることができた。地域の人材活用を図る観点からも、これからも人気の講座として続けたい。

②科学教室

こども電気教室として、電気の安全な使い方や基礎知識の学習とクリップモーターを作る実験を行った。クリップモーターは、すぐに回りだした子もいたが回らない子も多く、講師が個々に指導してくれた。少し難しいと感じた子が多かったようでしたが、良い勉強になったという意見もあり、実験の楽しさを感じてもらえた様子だった。今後も難易度に配慮して科学教室を行っていきたい。

③食育教室

地区内にある前橋南高校の料理研究部員に講師をお願いし、～高校生が教える料理教室～として開催した。小学生が家で作れるメニューとして、高校生が考えてレシピも用意してもらった。

年齢が近いこともあり、講師も子どもたちも楽しく取り組めて、異年齢交流も図ることができた。また、班分けについても学年の違う子どもが組むようにしていたため、交流が広がったと思われる。

料理研究部員が講師ということもあり、食中毒予防などにも細心の注意を払っていて安心できた。

反省点としては、持ち物にマスクを入れていなかったため、自主

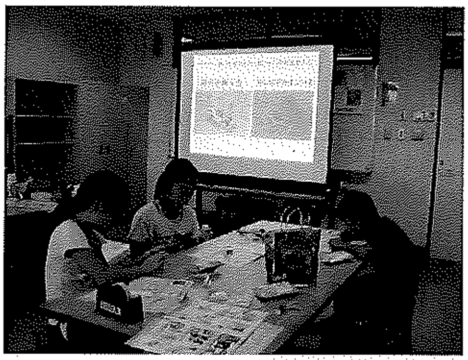
的に持ってきてくれた子もいたが、マスクのない子もいた。今後、食品を扱う教室についてはマスクを持ち物に入れる等の配慮をしていきたい。

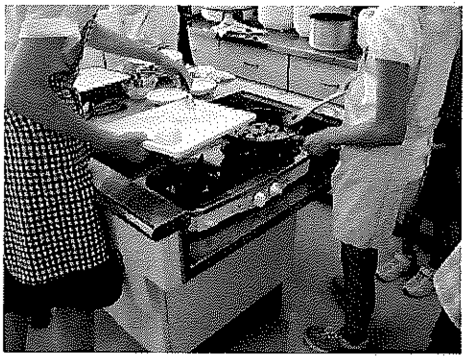
④野外教室

昨年度に引き続き、野外教室を実施した。協力者として地域の方２名に同行していただきとても助かった。豊富な知識と経験で子どもの相手やバス内でのレクリエーション等していただいたことは、職員の精神的な負担軽減になり、更に世代間交流にも繋がった。

今後も、野外研修の際には地域の方に協力をお願いしていきたい。

陶芸クラブ会員による丁寧な指導


科学教室の様子


食育教室の様子

真剣に取り組む様子

野外教室の様子

工場見学の様子

下川淵、城南公民館子ども体験教室（冬）

「音楽物語　くるみ割り人形」 担当：石井

（１）ねらい

学校や学年の異なった仲間との学校外活動に機会を提供し、仲間づくりを図る。また、下記の目的を持って開催する。

①プロの演奏家によるコンサートを通じて、子どもの可能性を発見する機会とする。

②音楽と朗読を生で聴くことにより、子どもたちの豊かな感性・表現力及び想像力を育む。

③バイオリンなどの楽器を直接見るなど新たな経験を積むことにより、多岐にわたる価値観を培うことができる。

（２）概要

①対象　小学１～６年生、中学１～３年生の児童・生徒と保護者が対象だが、未就学児も保護者と一緒に鑑賞可とする。
約１００人

②募集方法　館報掲載・館内掲示・ホームページ・フェイスブック掲載・下川淵地区幼稚園、保育所、及び小中学校全クラスへのチラシ配布

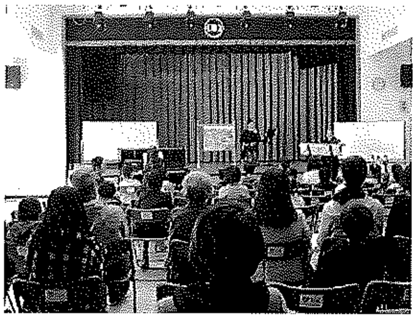
（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	12/8（土） 14:00～15:30	・バイオリンとピアノの演奏、紙芝居朗読による「音楽物語くるみ割り人形」 ・バイオリンケースの中に入っているものを間近に見ながら、講師から説明を受け、質問に答えてもらう。	演奏鑑賞 実　演	群馬交響楽団元楽団員 井桁　正樹 ピアニスト 峰岸　小織	68

（４）評価と反省

城南公民館で平成２８年度に開催され好評だった「クリスマスコンサート　くるみ割り人形」を下川淵・城南公民館共催により、下川淵公民館ホールを会場に開催したもので、プロの演奏と大型絵本の朗読は、来場者を魅了した。ワークショップでは、普段見ることのないバイオリンケースの中身を講師が全部机に広げて紹介し、丁寧に道具の説明をしてくれた。子供たちは、プロの演奏を間近で聴き、バイオリンなどの楽器を直接見るなど、新たな経験を積むことができ、豊か

な感性が大いに刺激されていたように思われた。



プロの生演奏に感動

興味津々で講師の説明を聞く様子

下川淵公民館クリスマスコンサート　担当：宇多

（１）ねらい

①生徒の主体性と自主性を尊重したイベントを開催することにより、公民館活動や地域貢献に対する関心や参加意欲を高める。

②生演奏の音楽鑑賞を通じて、子どもたちの豊かな感性を育む。さらには、子どもたちが楽器に興味を持ち、演奏活動を始めるきっかけづくりとする。

（２）概要

①対象　地区住民

②募集方法　館報掲載・館内掲示
ホームページ・フェイスブック掲載、自治会回覧
下川淵地区幼稚園、保育所、及び小中学校全クラスへのチラシ配布

（３）内容

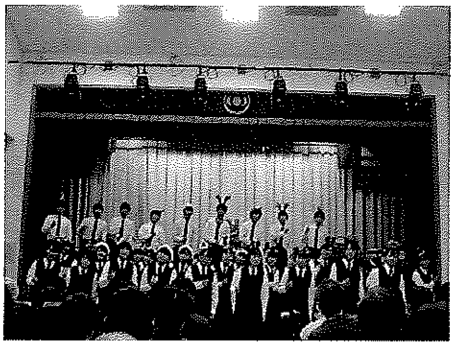
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	出演者	人数
1	12/23（日） 14:30～16:00	・前橋南高校吹奏楽部によるコンサート	吹奏楽 演　奏	前橋南高等学校 吹奏楽部42名 顧問1名	157

（４）評価と反省

高校生のチャレンジ活動として、企画、選曲、パンフレット作成、小中学校や幼稚園保育所への宣伝、会場準備、受付、進行など、生徒の自主性や主体性に任せて実施した。高校生には、お客さんが楽しん

でいる様子が自分たちの喜びとなり励みになったようだ。来場者は、若い高校生が音楽に一生懸命取り組む姿に感動を受けたようだ。終演後、自主グループ連協本部役員が手作りケーキでもてなしてくれて、高校生に大変喜んでもらった。今回、高校生が自分たちでコンサートを開催する楽しさや難しさを体験し、地域活動の喜びを感じてもらえたと思う。また、音楽活動を通して地域住民と高校生の交流ができたと思う。今後も吹奏楽部のコンサートは継続的に開催していきたい。

コンサートの様子



来場者と一緒に歌を楽しむ様子

子ども体験教室「スポーツチャンバラ教室」 担当：石井

（１）ねらい

①昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、時代の新たな担い手となる子どもたちの好奇心や生きる力を養うこと。

②活動を通し、学校・家庭とは異なる気付きや学びを得てもらい、子どもたちの視野を広げること。

③地域の中で異年齢と交流を図ることにより、自立性及び社会性を育むこと。

（２）概要

①対象

地区在住小学生２０人

②募集方法　館報掲載・館内掲示・ホームページ掲載

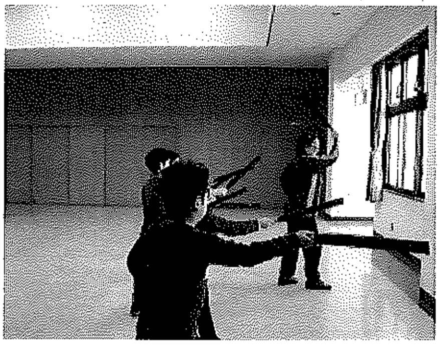
地区小学校全クラスへのチラシ配布

（３）内容

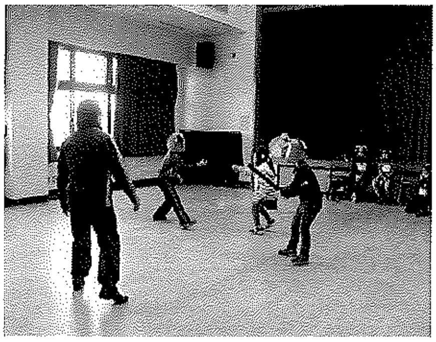
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	2/17（日） 9:00～11:00	集まれ小学生剣士！ スポーツチャンバラ教室	体験	群馬県スポーツチャンバラ協会 前橋支部 大崎美弥子	7

（４）評価と反省

楽しく体を動かしながら、異学年交流ができ、礼儀作法も学ぶことができた。実践も多く出来たため、子どもたちは生き生きと満足そうな様子だった。高学年の子は低学年の子と戦うときは、力を少し加減し、低学年の子は思い切り挑むようにという講師の言葉のとおり手加減も忘れずに楽しんでいる様子も印象的だった。スポーツは習得までに時間がかかるものが多い中、スポーツチャンバラをやるのは、初めてという子ばかりだったが、すぐに習得し楽しむことができたので、２時間という時間の中で、新しい体験をして楽しいと思えるまでできるようになったのは、良かったと思う。



練習の様子



実践の様子

インリーダー講習会　担当：笠原

（１）ねらい

①課外活動を通し、子ども会リーダーとして期待される会員（小学生）のリーダーシップ育成を図ること。

②地域の子ども会活動の育成・推進を図ること。

（２）概要

①対象　　地区子ども会会員（小学４年生以上）３０人

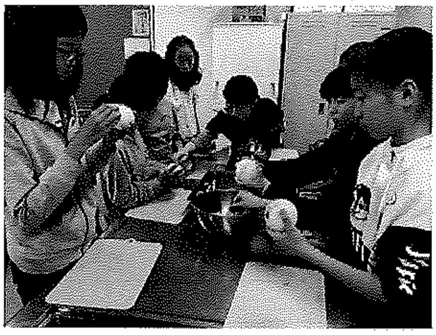
②募集方法　下川淵地区子ども会育成団体連絡協議会を通し、単位育成会に依頼する。

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	6/16（土） 9:00～15:00	・危険予知トレーニング ・飯ごう炊飯 ・カレーづくり （材料は前橋産） ・室内レクリエーション	実技 実習	市子連 ガールスカウト	37

（４）評価と反省

昨年に続き、ガールスカウトに実技の講師依頼をし、危険予知トレーニングや子ども会についての知識学習の講師は市子連へ依頼した。それぞれ得意分野が異なるため、ひとつの事業（講座）の中でも複数の講師に依頼することは意義があると感じた。今回は定員３０名のところ３７名の受け入れとなったが、予定より多い参加人数に対応するのには限界があるので、来年度はより多くの参加者を受け入れるような内容にアップデートし、講座の拡充を図りたい。



3.生涯学習奨励員活動支援　担当:國定

（１）ねらい

①生涯学習奨励員が、地域での生涯学習活動を進め、また、地域住民の学習要求を的確にとらえ事業に反映できるようにする。

②生涯学習活動に不可欠な「自治会との連携・協調の関係」をより円滑にするために自治会長との合同研修とする。

③生涯学習奨励員としての資質の向上を図る。

④人権意識の向上を図る。

（２）概要

生涯学習奨励員及び自治会長を対象に研修を行い、地域づくりを意識した生涯学習活動について学ぶ。

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	11/20（火） 8:30～17:15	野外研修 ・吾妻郡長野原町、草津町 「八ッ場ダム」「栗生楽泉園 重監房資料館」	視察見学	施設担当者	２６
2	2/27（水） 13：30～16：00	「幕府の運命、日本の運命 ～小栗上野介の日本改造～」	講義・討議	東善寺 住職　村上　泰賢	２４

（４）評価と反省

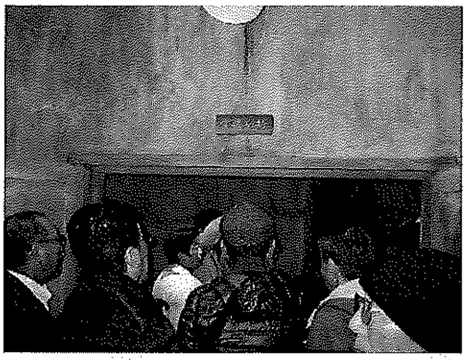
第１回の野外研修は、自治会連合会と合同で開催し、生涯学習奨励員が中心となって「地域の歴史・文化を学び地域の生涯学習に活かす」をテーマに、企画・運営を行った。

八ッ場ダムでは、建設現場を間近で見ることができ、その大きさにまず圧倒され、また、調査開始から６０年以上、基本協定締結から２０年以上経つなど、様々な過程を経てようやく来年度完成するダムであり、その長い歴史を肌で感じることができ、大変有意義であった。八ッ場ダムの機能としては、洪水調節、都市用水の供給、流水機能の維持、及び、発電を目的とするなど多目的な機能について学ぶことができた。今後の地域理解や学習に大いに資することができたと考える。

栗生楽泉園では、患者に重罰を処すための監房として使われた原寸大に復元された重監房を目の当たりにし、昭和６年より始まったハンセン病患者の隔離政策が、つい最近の平成８年まで続いていたことに大変驚くとともに、その後もハンセン病患者への差別が続いていることに心を痛めた。患者の人権が完全に無視された現場を目の当たりにし、人権とは何か、また、ハンセン病に対する偏見や差別などについ

て、あらためて考える機会になれば良いと思う。

第２回では、「幕府の運命、日本の運命～小栗上野介の日本改造～」と題し、明治の父とも評される小栗上野介の功績について学んだ。「小栗上野介の本当の姿をきちんと理解して語ってほしい」という熱い思いを感じ、また改めて小栗上野介の偉大な功績に触れ、正しい歴史認識を持つことの大切さについて気づかされた。群馬県の偉人という歴史認識を持ってもらい、郷土愛を深めてもらえればと思う。



第１回野外研修

第２回研修

4.自主学習グループ活動支援　担当:笠原

（１）ねらい

①下川淵公民館を利用して文化やスポーツ等の学習活動をしている自主グループの会員が、互いに学び合い交流を深めること。

②より良い生涯学習活動や地域文化の向上について考える場とすること。

③公開講座にすることで、地域住民が自主グループの活動を知る機会とし、下川淵地区の地域づくり推進の一助とすること。

（２）概要

①対象

下川淵公民館自主グループ会員及び地区住民

ただし、第２回目の野外研修については会員のみ。

③周知方法

自主グループ代表者へ直接通知（第１，２，３回）

館報へ記事掲載・チラシの館内掲示（第１，３回）

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	講師	人数
1	7/10（火） 13:30～15:10	ひと葉の会ふたり芝居 「父と暮せば」	ひと葉の会 花沢町子 ヨロコンデぶっち	115
2	10/11（木） 7:00～19:00	野外研修 （小田原城・起雲閣ほか）	なし	106
3	1/26(土) 10:50～12:00	「顔をめぐる心理学」	群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部 教授　甲村美帆	75

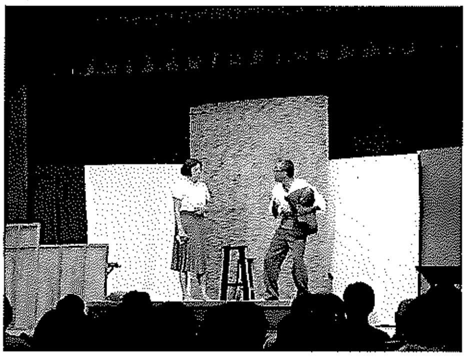
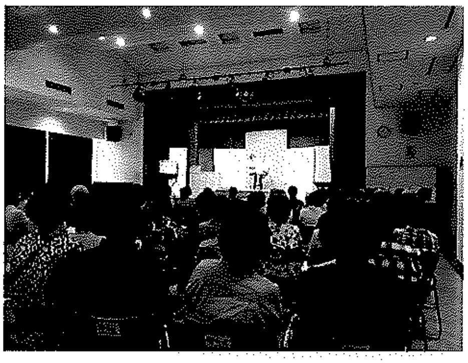
（４）評価と反省

第１回研修会について、“ふたり芝居”という普段あまり馴染みのない体験ということで、募集の段階から反応がとてもよかった。内容は、有名な作品をひと葉の会なりの解釈でアレンジしたものだったが、重くなりがちな「原爆」というテーマを程よいスピード感でコミカルに演じる二人に観客はすぐに引き込まれ、終演後は拍手喝采、大変好評であった。

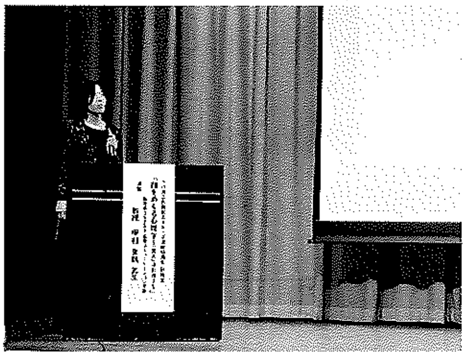
第３回研修会では、大学の教授から、今までにない分野の講演をいただいた。質疑の時間には活発な意見交換があり、参加者が興味をもって講演を聞いていたことがわかり、またアンケート結果からも「学習」というカテゴリーがよかったという結果が見られた。また、下川淵カルタアート展と同日開催を行ったことで、双方の参加者増加につながったと考える。

連協の研修会は、内容によって多少変動はあるものの、他講座と比べると参加者が多いため、公民館側が地域に対して投げかけ周知

したいこと（防災等）について、より多くの人に学習してもらうチャンスであると感じた。ただし、自主的に集まってくれているいまの参加人数をキープするためには、参加者が喜ぶ内容であることももちろん重要なため、バランスを考えて講座企画をしたい。
※第２回については職員不参加（自主的運営）のため省略。

第１回研修会の様子



第３回研修会の様子

5.学びあい・人権・地域ふれあい

学びあい講座「下川淵いきいき生活講座」担当:國定

（１）ねらい

①健康寿命を延ばすための知識を得、また、楽しく生きがいのある生活を送るためのきっかけづくりとする。

②人権意識の向上を図るとともに、地域社会での仲間づくりの場、世代間交流の場を設ける。

③積極的に地域活動に参画できる手がかりとする。

（２）概要

地区在住の概ね６０歳以上の方、及び、世代間交流の一般成人、子どもも一部対象に実施。

（３）内容

回	日時	学習内容	学習方法	講師	参加人数
1	11/16（金） 10:00～ 11:30	「いきいき健康教室」 ・新たな国民病”慢性腎臓病” ～透析治療にならない鍵～ ・気になる！尿もれ	講義	前橋市健康増進課職員	32
2	11/27（火） 10:00～ 11:30	「はじめてますか？介護予防」 ・ひざ腰らくらく・元気な生活 ・ピンシャン！元気体操のポイント	講義	前橋市 長寿包括ケア課	12
3	12/7（金） 9:30～ 11:30	しめ縄作り事前学習 （しめ縄の由来、しめ縄作りの実習）	講義 学習	地域協力者	14
4	12/15（土） 9:30～ 11:30	世代間交流 しめ縄作りの指導 （地域の子ども達やその父母に対する指導）	講義 実習	地域協力者 及び老連役員	19
5	1/16（水） 10:00～ 11:30	「相続・遺言についてのお話」	講義	元公証人 永井　敏夫	40
6	1/22（火） 10:00～ 11:30	「近代日本と世界の流れ」	講義	明和学園短期大学 教授　金井　尚之	20
7	2/7（木） 10:00～ 12:00	「ふるさとの先人の生き方に学ぶ ～相手の身になって思いやる心が人権の基本～」	講義	民俗研究家 酒井　正保	24

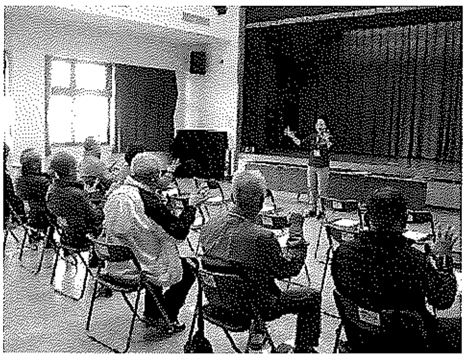
（４）評価と反省

地区老人クラブ連合会と連携・協力し運営を行った。開催時期については老人クラブ連合会との協議で今回も秋季から開催となった。

講座内容については、話題性の高いものや健康面を中心に設定し、身近なテーマで参加しやすい内容とした。アンケート結果も概ね好評だった。

毎年実施しているしめ縄づくり教室では、老人クラブ役員が地域の子どもたちや若い父親、母親に対して昔からの伝統行事であるしめ縄飾りの作り方を教えながら世代間交流を図ることができた。

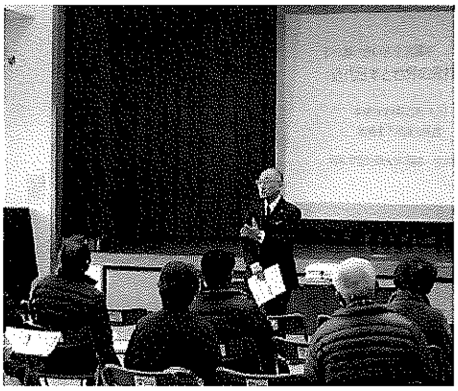
第１回：いきいき健康教室



第２回：はじめてますか？介護予防

第３、４回：しめ縄づくり

第５回：相続、遺言についてのお話



第６回：近代日本と世界の流れ

第７回：ふるさとの先人の生き方
に学ぶ

学びあい講座「普通救命講習会」担当：名雪

（1）ねらい

①傷病者の発生や災害などの不測の事態に備える。

②適切な応急手当の知識および技術を学ぶ。

（2）概要

下川淵地区住民（中学生以上）を対象　館報および地区内回覧チラシで募集

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	6/24（日） 13:30～16:30	応急手当の基礎知識に関する実技指導体験を伴う学習。 講習終了後、参加者に「普通救命講習修了証」を交付する。 ※平成２５年度から継続して実施しているもの	講義・実習	前橋市消防局 南消防署　救急隊長 金澤正幸 他、専門員2名	23

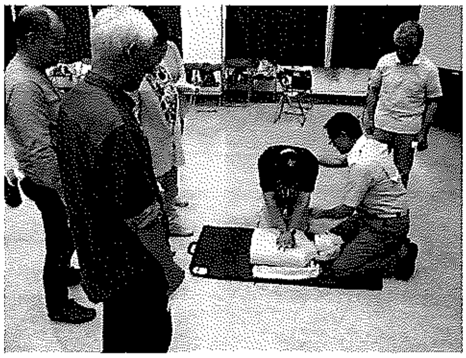
（4）評価と反省

当日は、まず初めにプロジェクターを使い、救命処置についてわかりやすい説明をしていただいた。ビデオで映像を見ながら、救命処置のながれだけでなく具体的な事例などについても紹介していただき、とても理解しやすかったと思う。後半は３つの班に分かれて、心配蘇生法やＡＥＤ使用の手順など、救命措置の実技を行った。和やかな雰囲気の中でも、集中して真剣に取り組んでいる姿が印象的であった。

班別の実技実施中は参加者から多くの質問があり、みなさんの関心の高さが伺えた。

いざというときの行動は、継続的な反復学習を通じて身につくものだと思うので、今後も引き続き実施していきたい。

救急隊長からのDVDを使った講義



3班に分かれて心肺蘇生の実技

学びあい講座「ゲートキーパー学習会」担当：名雪

（1）ねらい
①悩みを抱える人への対応方法などを学ぶ。
②団体の連携による地域での支えあいについて実践する。

（2）概要
下川淵地区住民を対象　館報および地区内回覧チラシで募集

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/24（金） 15:00～16:00	ゲートキーパーに関する知識を学び、悩んでいる人に気づいたときの対応等を通じて、地域での支えあいについて実践する。 また、図書館下川淵分館にも協力を依頼し、自殺予防に関する書籍のコーナーを自殺予防月間に併せて設営し、意識づけを行う。	講義	前橋市保健予防課 こころの健康係 高橋洋子 他、1名	33

（4）評価と反省
市民へゲートキーパー運動を周知するため、公民館に併設されている図書館（下川淵分館）と連携して実施した。事前に図書館（本館）と相談をしつつ、協力依頼をしたものである。また参加者募集に関しては、下川淵地区民生児童委員や保健推進員、更生保護女性会にも案内を送付して参加協力（民児協の定例会議に併せて実施）をお願いした。

当日は短い時間であったが、ゲートキーパーの役割や地域の見守り活動などについて、わかりやすく説明していただき、参加者は新たな知識を得ることができた。また、下川淵分館にも協力いただき、関連する書籍の特集コーナーを設置したので、今回の参加者のみならず、地域の方々へ情報発信していただき、学びの輪を広げてもらうことが出来ると思う。

９月の自殺予防月間に先立って、関連するテーマの学習会を行い、併せて分館にも協力を得て講座以外の部分でもゲートキーパー運動の啓発につながる、充実した企画になったと思う。

ホールで行われた講座の様子

こころの健康係職員による講義

学びあい講座 「火災予防講習会」 担当:名雪

（1）ねらい

①火災予防対策を学び、防災意識を高める。

②火災の初期消火を体験し、現場での対応力をつける。

（2）概要

下川淵地区住民（中学生以上）を対象　館報および地区内回覧チラシで募集

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/8（土） 10:00～11:30	住宅の火災予防対策や火災がおきた際の初期対応などを学ぶ。また、消火訓練については実際に体験し、対応力をつける。	講義・実習	前橋市消防局 南消防署地域安全係 南澤正逸	18

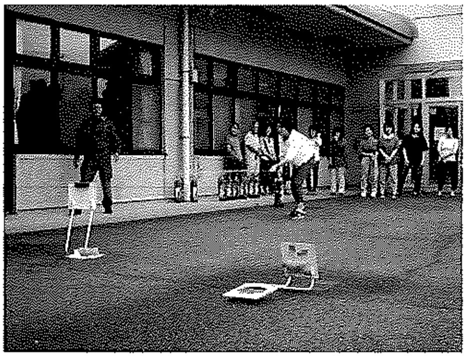
（4）評価と反省

当日はまず初めに、地震などに対する防災や火災予防についてわかりやすい説明をしていただいた。その後、ビデオで映像を見ながら火災予防に関する知識や具体的な事例などについて説明していただき、とても理解しやすかったと思う。休憩後、後半は参加者全員が水消火器を使った消火の実技体験を行った。

初めて消火器を操作する方もいたが、消防署員の説明を受けて、とまどいながらも目標物へ向けて噴水できていた。

座学だけでなく実技体験を加えたので、参加者同士の交流もあり、和やかな雰囲気の中でも、集中して真剣に取り組んでいる姿が印象的であった。

南消防署職員による講義の様子



水消火器を使った消化体験の様子

学びあい講座「スマホ入門講座」担当:名雪

（１）ねらい

①スマートフォンの特徴や使い方を学ぶ。

②情報収集や連絡手段としての活用法を体験し、地域コミュニケーションに役立てる。

（２）概要

下川淵地区住民を対象　館報および地区内回覧チラシで募集

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/8（金） 10:00～12:00	スマートフォンに実際に触っていただきながら、その特徴や使い方などを説明・解説してもらう。 ※スマートフォンについては、参加者に各１台ずつ用意する。	講義	ドコモショップ 新前橋店　副店長 千木良真美 他、２名	20

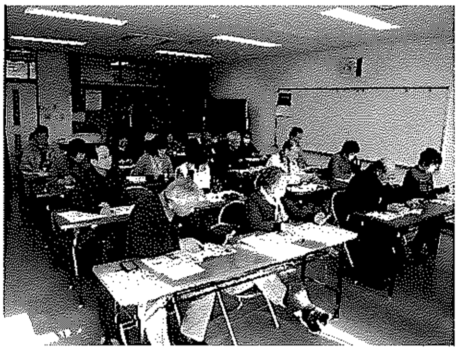
（４）評価と反省

講座の募集を開始してから、わずか５０分で定員になったもので、参加者の関心の高さがうかがえた。講義は、実際にスマホ(シニア向けスマートフォン)を使った説明でとてもわかりやすかった。参加者の半数ほどがスマホを初めて操作する方だったが、講座の後半には使い方にも慣れてきたようで、楽しそうに操作している姿が印象的であった。また、既にスマホをお持ちの方でも、その使い方に慣れていないため、気軽にいろいろなことを聞ける公民館講座に申し込みをしたという意見もあった。地域の方々に寄り添う内容の企画になったと思う。

今回はドコモショップの協力を得て実施したのだが、普段から接客で説明をしているだけあって初心者にも操作などがわかりやすい説明だった。民間企業ということで、特定商品の優位性を紹介する営利行為を危惧したが、その点については講師も理解していただき心配はなかった。

定員を超えた後も申し込みの問い合わせが多数あり、受講できなかった方が数名いたので、機会があれば、また実施してみたい。

初心者向けのわかりやすい説明



真剣にスマホを操作していました

学びあい講座「花と緑の講座～春の寄せ植え～」担当：名雪

（1）ねらい

①地域の方々の交流を通じて環境について考え、各町の花づくりに役立てる。

②地域づくり推進協議会等と協力して、住民が自ら地域づくりに参画できる一助とする。

（2）概要

下川淵地区住民を対象　館報および地区内回覧チラシで募集

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/4（月） 10:00～12:00	・春の花の寄せ植え ・花と緑を通じて、地域の人同士のつながりを深める ※下川淵地区地域づくり推進協議会および花結びの会と共催で行うもの	講義・実習	ハンギングバスケットマスター 吉田美津子	24

（4）評価と反省

今回は募集を開始してから2週間で定員になり、締め切り後も申し込みの問い合わせが何人もあった。2/15号の館報に先駆けて2/1にチラシを回覧したのだがそちらを見落として館報で気づいた方もいたらしい。定員のある講座なので4人多く受講してもらうようにしたのだが、例年に比べて地域の方々の関心が高く、10名くらい断らざるを得なかったのが残念であった。講座は、講師と参加者の年齢も近いせいか、みなさん和気あいあいと楽しみながら、素敵な寄せ植えが出来た。手作りのプランターも好評で、みなさんに喜んでもらえたと思う。

参加者には普段から緑に関心がある方が多く、ご自身の庭の手入れ方法や、鉢植えの植物の上手な育て方など、寄せ植えをしながらいろいろな質問が出て、講師のみならず参加者同士で教えあったり、情報交換が出来ていた。

今回の講座を通して、地域の緑地公園の整備や春のオープンガーデンなど、地域づくり協議会環境部会への関心が高まればよいと思う。

優しい説明を熱心に聞きました

素敵な寄せ植えを作りました

地域ふれあい講座

「下川淵人形劇フェスティバル（下川ぷちにんぎょう寄席）」 担当：石井

（1）ねらい

①大勢の人と同じ空間を共有して生の舞台の臨場感を体験することにより、子どもたちの豊かな感性、表現力及び創造力を育む。

②参加者の主体性を尊重したイベントで公民館活動の活性化を図り、公民館活動に対する関心や参加意欲を高める。

③人形劇を地域文化として根付かせ、地域住民の交流やつながりを深め、住民主体の地域づくりにつなげる。

（2）概要

①対象　　下川淵地区住民

②周知方法　館報掲載、ホームページ掲載、フェイスブック掲載、館内掲示、地区内幼稚園・保育所・小学校各クラスへのチラシ配布

（3）内容

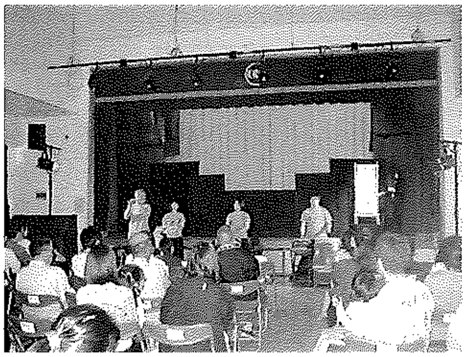
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	4/29（日） 10:30～15:00	① 人形劇ステージ ② ワークショップ ③ 模擬店	見学・ 体験	下川ぷちにんぎょう寄席 実行委員会	92

（4）評価と反省

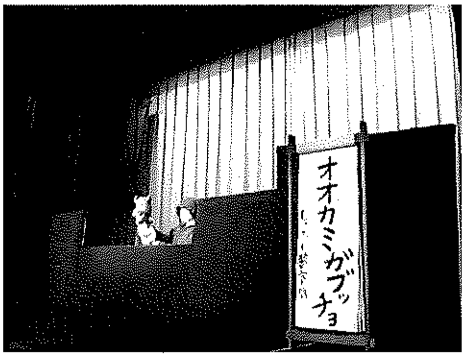
企画運営ともに参加者の主体性を尊重し、初めて開催されたイベントであり、天候にも恵まれ、多くの出演者、来場者で盛況に開催することができ、今後の継続開催が期待される。また、グループ相互の交流も深めることができた。

人形劇グループによるステージでは、大勢の人が同じ空間を共有し、その場にいなければ味わうことのできない生の臨場感を体験することができ、豊かな感性や想像力を育むことに寄与することができた。また、ワークショップや模擬店の実施により来場者が多様に楽しむ場も提供できた。なお、昼休憩の時間にしあわせ太鼓によるミニコンサートとして、会場を盛り上げていただいた。

反省点としては、初めての実施ということもあり、周知の点でもう少し工夫できるとさらに来場者の増加が期待できると感じた。



楽しむ来場者



人形劇の様子

地域ふれあい講座

「地域再発見　～産業技術センター見学会～」 担当：名雪

（1）ねらい

①地域にある施設をナマで見る機会とする。

②地域を知ることにより地元へ誇りと愛着を持つ。

（2）概要

下川淵地区住民を対象　館報および地区内回覧チラシで募集

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/2（月） 14:00～15:30	普段、個人的には見学することができない地域の施設をナマで見ることにより、あらためて地域を知り地元への誇りと愛着を持つ。	講義・ 見学	群馬産業技術センター 企画管理係 滝野大樹 他、1名	18

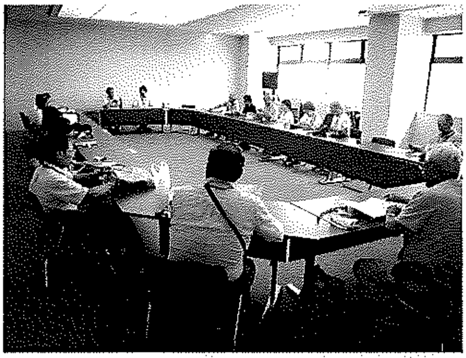
（4）評価と反省

普段は地区行事で駐車場として協力いただいているセンターであるが、地域の連携と地元にあるランドマーク的な施設を知る機会として、地域再発見と称して企画したものである。

募集に関しては、館報掲載に先行して配布した地区回覧で、定員のほとんどが満たされ、今回の企画に対する住民の関心の高さが伺えた。

現地では、初めて見るセンター内部の広さに圧倒されつつも、担当者のていねいな説明のおかげで、センターの概略を理解していただけたと思う。また、３Ｄプリンターや日本酒の製造、電子顕微鏡の実験室を見せていただき、企業の製品開発や実験などに大きな関心を持ってもらえたようであった。

また機会があれば、今回のような「オトナの社会科見学」を企画してみたいと思う。



センターの職員からの説明の様子

玄関前にて参加者の記念撮影

6.情報提供事業　担当:國定・塚越

（１）「館報下川淵」の発行

①下川淵地区全世帯及び関係機関等に配布し、住民に必要な各種情報を提供している。

②Ａ３判両面刷りで毎戸配布（３，３９７部／月）。

③公民館事業の紹介、前橋市からの情報、各種団体事業の紹介などを掲載し、毎月１５日発行、特別号（文化祭）発行している。

（２）ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

最新の情報を提供するため、ホームページの更新（必要に応じて随時更新）、フェイスブックによる情報提供を行っている。

（３）「下川淵アイアイ」の発行

①毎月１日発行、特別号（市民運動会、文化祭）発行（平成１４年５月創刊）

②Ａ３判両面刷りで毎戸配布（３，３９７部／月）

③発行：「下川淵アイアイ編集委員会」発行責任者：自治会連合会長

下川淵地区の「自治会連合会だより」「青健だより」「社協だより」を統合し、各種団体や下川淵小・七中の事業の紹介、地域の話題などを掲載。公民館が事務局となり、月１回編集会議を開催。編集委員は各種団体から選任され、記事作成を行う。